



2026年3月16日

各位

会社名 株式会社ギフトホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田川 翔
(コード: 9279、東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 末廣 紀彦
(TEL. 03-5990-4650)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年12月15日に公表いたしました2026年10月期の連結業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年10月期 第2四半期(中間期) 連結業績予想の修正(2025年11月1日~2026年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,300	百万円 2,120	百万円 2,100	百万円 1,420	円 70.99
今回修正予想(B)	20,300	2,220	2,200	1,480	73.93
増減額(B-A)	—	100	100	60	
増減率(%)	—	4.7	4.8	4.2	
(ご参考) 前年同期実績 (2025年10月期第2四半期)	17,195	1,547	1,543	1,032	51.68

2. 2026年10月期 通期連結業績予想の修正(2025年11月1日～2026年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	43,000	4,300	4,260	2,550	127.48
今回修正予想 (B)	43,000	4,400	4,360	2,610	130.37
増減額 (B-A)	—	100	100	60	
増減率 (%)	—	2.3	2.3	2.4	
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期)	35,878	3,367	3,374	2,185	109.34

2. 業績予想修正の理由差異の理由

当社グループは2026年10月期第1四半期においては、店舗QSCAの継続的な向上に取り組んだことにより、第1四半期連結累計期間における国内直営店の既存店売上高は、前年同期比(改装店除く)が104.0%と順調に推移しました。また、食材コストについては輸入品に由来するインフレ圧力の緩和が見られたことに加え、自社工場における製造効率の向上により、売上総利益率は前期の水準から大きく改善しております。人件費については、前年から取り組んでいるシフト管理の徹底により、賃上げや最低賃金引上げによる人件費単価の上昇分を相殺し、適切にコントロールすることができております。第1四半期連結累計期間の各段階利益は予想を上回る結果となりました。

これに伴い、第1四半期に計対比で上回って推移した分を2025年12月15日発表の2026年10月期第2四半期(中間期)及び2026年10月期通期連結業績予想に上乘せする形で、上述の通り修正することといたしました。

なお、第2四半期以降につきましても現時点では第1四半期同様堅調に推移しておりますが、今回修正予想においては据え置きとしております。

事業環境の見通しや先行投資の可能性を考慮した上で、更なる計画の修正が必要となった際は速やかに開示致します。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因により上記予想と異なる場合がございます。

以 上